



令和3年12月23日

ガストーチバーナを使用した火災にご注意を！ ～ 炙り調理中の火災が増加しています!! ～

東京消防庁管内では、ガストーチバーナ（以下「ガスバーナ」という。）使用時の火災が毎年発生し、平成28年から令和2年までの5年間で昨年は最も多い35件でしたが、本年は11月末までで47件（速報値）発生し、大幅に増加しています。

手軽に使えるガスバーナは、店頭販売だけでなくネットモールなどでも販売されているため、一般家庭においても容易に購入しやすくなっています。

冬休みや年末年始など家で過ごす時間が増え、調理などで使用する機会も増えると予想されるため、使用する際は取扱説明書をよく読んでから使用するよう注意を呼びかけています。

【ガスバーナとは】

主にカセットボンベに接続して使用する、簡易的なガスバーナのことです。近年は一般家庭にも普及し、料理の調理レシピ等に紹介され、自宅でガスバーナを使用した炙り料理やお菓子作り等で使用されています。

正しく使えば便利な道具ですが、ガスバーナが発生させる炎の温度は1000℃以上に達することに加え、カセットボンベには燃料のガスが加圧・液化した状態で充填されています。そのため、異常燃焼やガス漏れ火災が起こると消火が難しく、怪我（火傷）をしたり、最悪の場合、爆発したりする危険性も潜んでいます。

【火災を防ぐために】

- 1 製品の取扱説明書をよく読み使用方法を確認しましょう。（別紙3参照）
- 2 接続不良や製品の不具合でガスが漏れていないか使用前後に点検しましょう。（別紙3参照）
- 3 ネットモールなどで販売されている安価な製品に注意しましょう。（別紙3参照）

なお、火災発生状況、火災事例、注意点は別紙1～3を参照してください。

【万が一火災が起きた時には】

消火器（粉末式）の消火方法が有効です。消火器がない場合は、水を張った容器に沈めることでも消火できます。

※ 再現映像と写真を希望する社は、広報課報道係までご連絡ください。

問合せ先

（東京消防庁（代） 電話 3212-2111）
（予防部調査課 内線 5065 5066）
（広報課報道係 内線 2345～2350）

【火災発生状況】

本年の火災状況は、死者（自殺行為による死者）が1人発生し、負傷者は13人発生しています。本年は11月30日現在で既に47件発生し、昨年の35件から12件増加しています。

表1 最近5年間の年別発生状況

年 別	合 計	建 物					車 両	そ の 他	焼 損 床 面 積 (㎡)	焼 損 表 面 積 (㎡)	死 (人) 者	負 傷 (人) 者
		小 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や						
合 計	116	97	-	3	11	83	4	15	114	129	-	42
平成 28 年	20	15	-	-	3	12	1	4	-	5	-	5
平成 29 年	13	10	-	2	-	8	1	2	39	7	-	6
平成 30 年	21	21	-	-	1	20	-	-	3	-	-	8
令 和 元 年	27	23	-	-	6	17	-	4	27	76	-	15
令 和 2 年	35	28	-	1	1	26	2	5	45	41	-	8
令 和 3 年 11 月 末	47	47	-	1	6	40	-	-	64	34	1	13

注1 合計欄の数値は、平成28年から令和2年の合計値です。

2 令和3年の数値は11月30日現在の速報値で、後日変更される場合があります。
(以下同じ。)

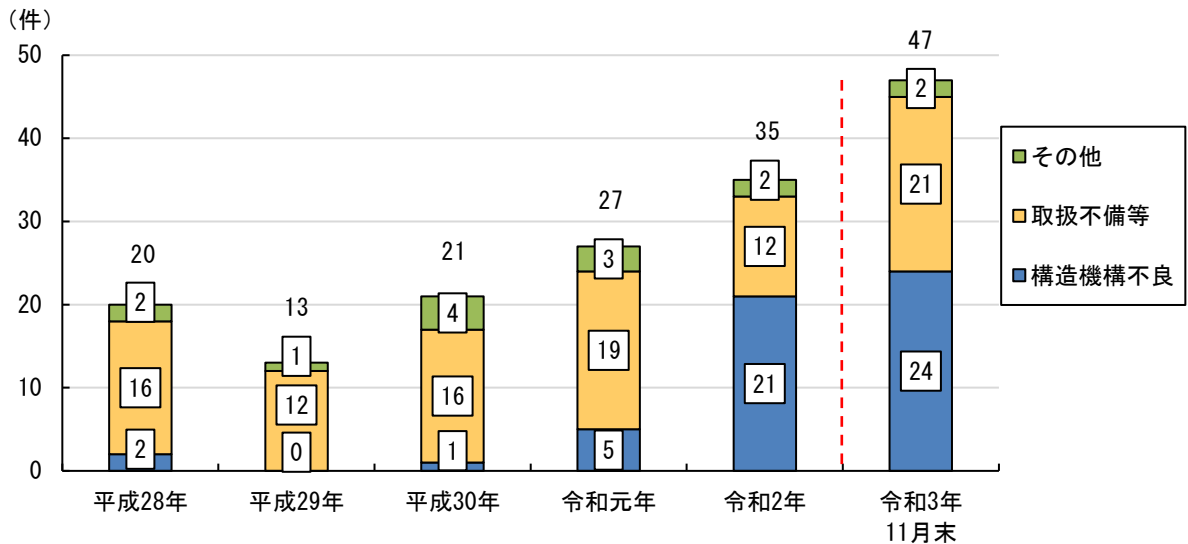


図1 出火年別出火要因状況

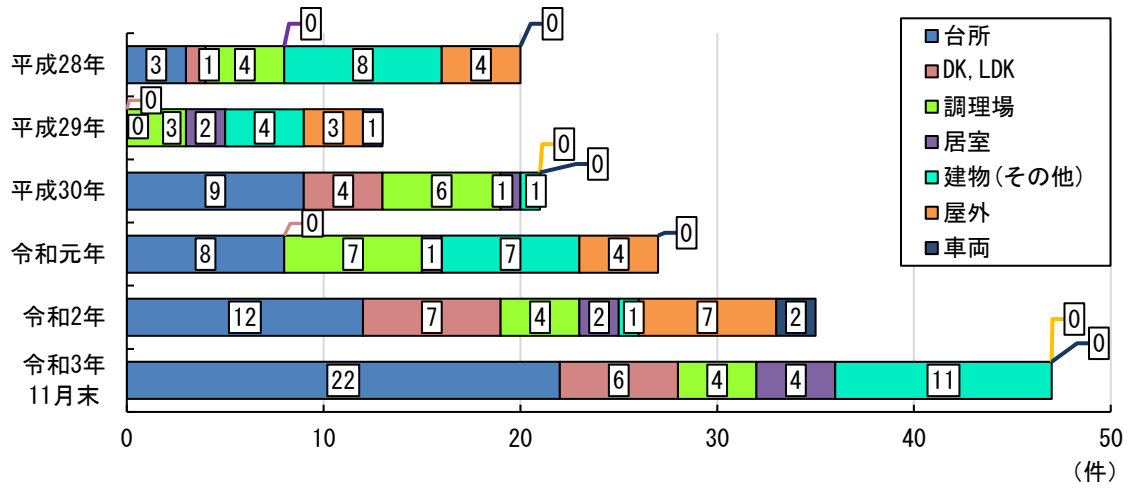


図2 出火年別出火箇所状況

注 DK, LDK は、ダイニングキッチン、リビングキッチンになります。

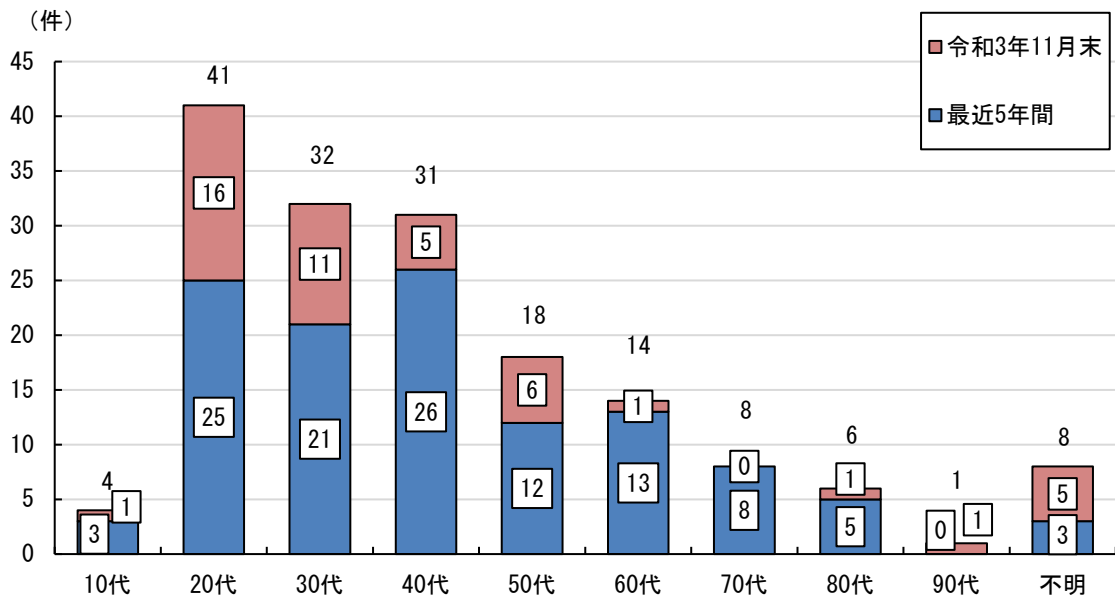
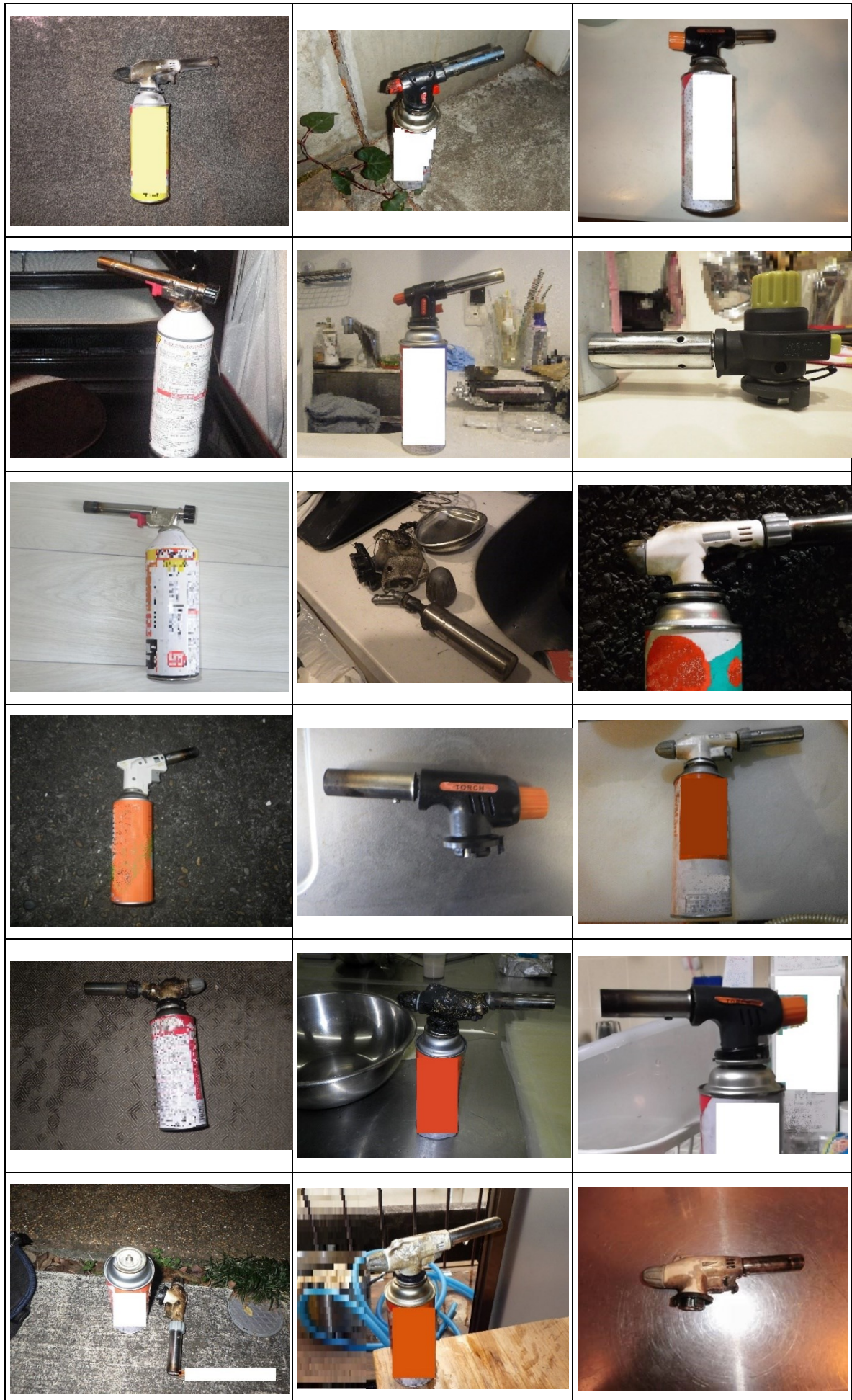


図3 使用者年齢状況

表2 ガスバーナーの主な火災写真【令和3年11月末現在】



1 事例紹介

事例1 取り付け部から漏れたガスに引火した火災

出火時分 4月 21時ごろ

用途等 共同住宅 耐火造 2/0 延 400㎡

被害状況 建物部分焼 1棟 8㎡等焼損 傷者2人

この火災は、共同住宅の台所から出火したものです。

出火原因は、居住者が夕食の準備のため、ガスバーナを使用して刺身を炙ろうとしたところ、ガスバーナの炎が点火後すぐに点火レバー付近から漏洩したガスに引火して、出火したものです。

居住者は、シンク内でガスバーナに衣類や布団を被せて消火を試みましたが、炎が燃え広がったため、自身の携帯電話から119番通報しています。また、火災の知らせを受けて屋外から駆け付けた別の居住者が浴室のシャワーと、建物に設置されていた消火器で初期消火を試みましたが、消火には至りませんでした。

初期消火時に、居住者2名が喉に火傷（軽症）を負っています。



写真1 台所の焼損状況



写真2 ガスバーナの焼損状況

事例2 取り付け部から漏れたガスに引火した火災

出火時分 3月 20時ごろ

用途等 住宅 防火造 2/0 延 100㎡

被害状況 建物ぼや1棟 容器2個等焼損

この火災は、ガスバーナから出火したものです。

出火原因は、ガス量調整つまみのニードルに取り付けられた^{オー}リングの気密不良によりガスが漏洩し、ガスバーナを点火する際に漏洩したガスに引火し出火したものです。

居住者が料理中に、ガスバーナを使用するために操作したところ、ガスが漏れる音がした後、ガスバーナから火が約50cm立ち上がるのを発見しました。

居住者は、キッチンマット等を水で濡らし、ガスバーナを覆い消火しました。その後、火が収まったのを確認し自身の携帯電話から119番通報しました。

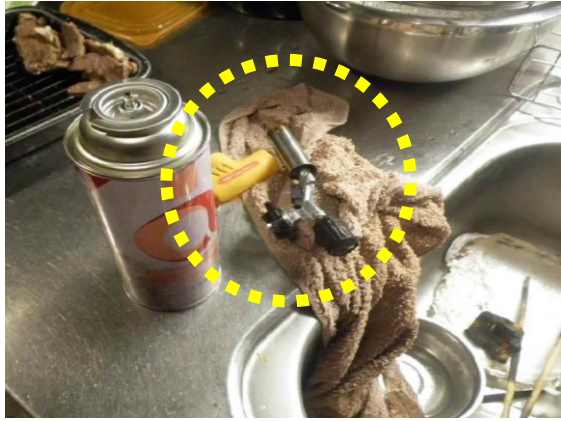


写真3 ガスバーナの焼損状況

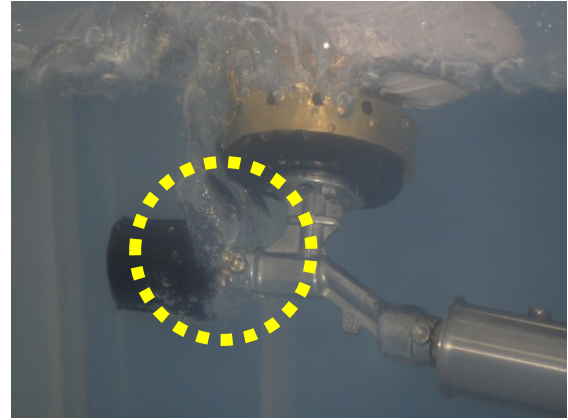


写真4 ガス漏洩状況

事例3 ガスバーナの取扱不備により調理中に出火した火災

出火時分 5月 21時ごろ

用途等 複合用途（事務所・共同住宅） 耐火造 3/0 延 200 m²

被害状況 建物ぼや1棟 台所用品2個焼損

この火災は、複合用途建物2階の共同住宅のリビングキッチンから出火したものです。

出火原因は、居住者がガスバーナを使用して、鯉のタタキを調理しようとしたところ、火力調整を誤り、バーナの炎が付近にあった台所用品に着火し、出火したものです。

居住者は、燃えている台所用品に水道水をかけて初期消火し、自身の携帯電話から119番通報しました。



写真5 ガスバーナの焼損状況



写真6 台所用品の焼損状況

事例4 社告品のガスバーナから出火した火災

出火時分 12月 2時ごろ

用途等 共同住宅 準耐火造 2/0 延 300㎡

被害状況 建物ぼや1棟 内壁若干等焼損

この火災は、共同住宅の台所から出火したものです。

出火原因は、ガスバーナのガス燃料容器接続部のビスの締付け不良により、リングの機密が不十分であったため、取り付けていたボンベ内のガス燃料が漏洩し、出火したものです。

居住者が軽食を作るため、ガスバーナを使用しようと点火レバーを押したところ火勢が弱くすぐに消えてしまったため、何度かボンベを取付け直して点火レバーを押したところ点火レバー付近から出火し、手に持ったまま燃え上がりました。

居住者は、火の点いたガスバーナを台所のシンク内に投げ入れましたが、シンク上の吊戸棚床板近くまで炎が立ち上がったため、近くにあった衣類及び洗面所で濡らしたタオルを被せた後、水道水をかけて消火し、自身の携帯電話から119番通報しました。

この火災で燃えたガスバーナは、株式会社旭製作所が輸入し、岩谷産業株式会社が販売したイワタニお料理バーナープロⅢ/CB-TC-CRR03で、ボンベ接続部の取付けビスの締付け不足により接続部に隙間ができガス漏れが発生し、火災に至る恐れがあるとして、平成26年12月11日に社告が実施され、対象製品について無償製品交換をしています。

社告・リコール情報は新聞やホームページなどに掲載されています。使用している電化製品などが社告・リコール該当品の場合は使用を中止し、製造会社もしくは販売店に連絡して改修等を依頼してください。



写真7 ガスバーナの焼損状況

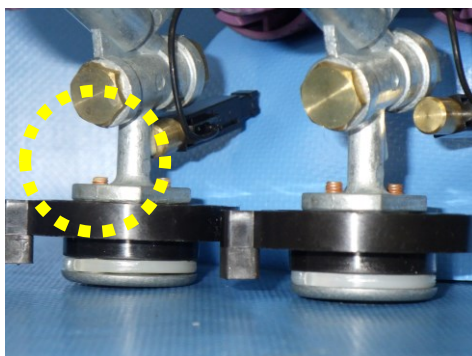


写真8 接続部のビスの締付け状況



消費者庁リコール情報サイトは上記の二次元コードをご確認ください。

2 火災を防ぐために

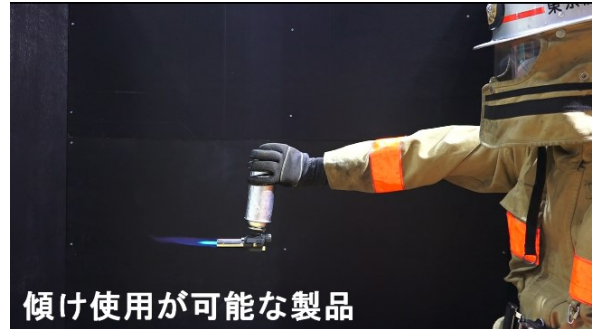
ガスバーナに関する火災の出火原因は様々ですが、いずれも使用前の確認やしっかりした事前準備があれば、防ぐことのできた火災が目立ちます。

火災から得られた再発防止のための教訓は次のようなものが挙げられます。

(1) 取扱説明書を良く読みましょう

構造が簡単のため、直観的に使用できてしまいますが、製品によって性能や機能に違いがあります。点火方法だけでなく、消火方法も確認しましょう。傾け（逆さ）使用が問題ない製品もあります。

また、一部の海外製品には、英語の取扱説明書しか添付されていないものもあり、注意が必要です。



(2) 使用前後に点検しましょう

ネジの緩みや、取り付け時のガタツキ、金具の変形がある時は使用しないでください。特に、「ボンベを持つ手に冷気が当たる」、「タマネギの腐ったような臭いがする」、「栓が閉まっているのにシューシュー音がする」といった兆候は、危険なガス漏れのサインです。

速やかに器具を取り外し、風通しの良い場所に搬出してください。



(3) 極端な廉価品に注意しましょう

流通しているガスバーナの中には、ネットモール等で極端な廉価で販売されている物もあります。そういった製品の中には、加工精度が低かったり、取扱説明書が不十分であったりするものがあり、火災発生のリスクが高くなります。

また、メーカー名が記載されておらず、何か事故が起きた際の連絡が困難なものもありますので注意しましょう。

なお、参考として一般財団法人日本ガス機器検査協会（JIA）により技術上の基準を満たした製品には、「JIA認証マーク」が表示されています。購入する際の一つの目安になります。



3 万一火災が起きた時は

消火方法として有効なのは消火器（粉末式）です。消火器が無い場合は、水を張った容器に沈めることでも消火できます。



ガスバーナを使う時は、あらかじめ水を張ったバケツや桶を用意しておくようにしましょう。ただし、水の量が少ないと消せないこともあります。

また、火災の熱がボンベに伝わるとボンベが破裂して爆発的に燃えることがあります。火を遮ろうとして鍋に入れたりボウル等を覆い被せたりすることは熱の伝導を早め、かえって危険です。



ボウルを覆いかぶせてボンベの底面が破裂した状況